

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

| | | | | | | |
|----------|---|--|---------|--|--|------------------|
| 提出区分 | 実績 | 整理番号 | 3 | 課題区分 | C | 令和6年(2024年)3月29日 |
| 横断的な課題 | 大規模災害の経験を生かした自然災害に強い地域づくりの推進 | | | | | 長野地域振興局 |
| 地域重点政策 | 大規模災害の経験を生かし「自然災害に強い持続可能な長野地域」をつくる | | | | | |
| 実施機関 | 長野地域振興局 | | | 担当課 | 所属 | 環境・廃棄物対策課 |
| 事業名 | 長野地域版2050ゼロカーボン普及啓発事業 | | | | 電話 | 026-234-9533 |
| | | | | E-mail | nagachi-kankyo@pref.nagano.lg.jp | |
| 事業の概要等 | 目的 (目指す姿) | ・「2050ゼロカーボン」を達成するため、日ごろ地域住民の対応を行う市町村職員や地域の事業者等の再生可能エネルギーに係る知識を深める。 ・長野地域の住民の「2050ゼロカーボン」に対する認知度を高める。 | | | | |
| | 現状と課題 | ・現状では、県補助金等による住宅・事業所への太陽光発電設備等の設置支援などを行っているが、関心のある人が取組を進める一方で、「2050ゼロカーボン」という言葉を知らない人や、具体的に何に取り組めばよいか分からないという人が依然として多い。 ・知識がないために、太陽光発電や小水力発電を漠然と不安なものと感じる人が多く、自然エネルギー適地としてのポテンシャルや地域資源を生かし切れていない。 ・地域住民への説明に当たる市町村職員からは、専門的知識がないため対応に苦慮しているとの声が寄せられている。また、事業者からは、太陽光発電や小水力発電に関心があるものの、関係法令が難しく検討が進まないといった声が寄せられている。 | | | | |
| | 内容 (変更後の内容) | ①再生可能エネルギー学習会 再生可能エネルギー普及のために必要となる専門的知識の習得を目的として、市町村職員等を対象に、現地視察を伴う学習会を開催した。 【開催日時】令和5年11月21日(火) 【場所】野沢温泉村役場 【参加者】市町村職員等22名 【学習会】(1)野沢温泉村の再生可能エネルギーの取組(講師:野沢温泉村 総務課 企画財政係 主任 金井 淳記) (2)小水力発電の推進に向けて(講師:長野県企業局 電気事業課 課長補佐 北沢 慎一) (3)降雪地域での住宅太陽光発電の普及に向けて(講師:石井瓦工業株式会社 Asmile 営業課長 前田 豊) 【視察】野沢温泉中学校太陽光パネル、まくな川小水力発電所 ②「2050ゼロカーボン」認知度アップキャンペーン 「2050ゼロカーボン」の認知度を高めるため、普及啓発物品を作製し、令和5年12月3日(日)開催の「ゼロカーボンミーティングin長野」ほかで配布した。また、WEB上で「ゼロカーボンクイズに答えてプレゼント」キャンペーンを実施した。 【普及啓発物品】アルクマを使用したオリジナルデザインのトレーシングペーパーペーパーファイル1,000部、ステッカー100枚 【キャンペーン期間】令和6年1月9日(火)から2月7日(水)まで 【キャンペーン内容】ゼロカーボンクイズ(全10問)に5問以上正解した者の中から、抽選で5名にソーラーモバイルバッテリー(携帯用ソーラー充電池)をプレゼントする。 【参加者】282名(内、長野地域振興局管内在住者108名) | | | | |
| | 事業期間 | 令和5年9月 ~ 令和6年3月 | | | | |
| 事業費等 | (単位:円) | | | | | |
| | 事業を構成する細事業名等 | 実施内容 | 実績額 | 備考 | | |
| | ①再生可能エネルギー学習会 | 太陽光・小水力発電等の学習会 | 181,500 | 委託料(講師謝金60,000円、運営経費87,500円、諸経費17,500円、消費税16,500円) | | |
| | ②「2050ゼロカーボン」認知度アップキャンペーン | クイズ、アンケート等の実施、普及啓発物品の作製等 | 191,400 | 委託料(運営経費58,000円、諸経費11,600円、普及啓発物品作製98,300円、景品5,000円、消耗品等1,100円、消費税17,400円) | | |
| 合計 | | 372,900 | | | | |
| 指標及び達成状況 | 成果指標 | | 目標値 | 成果 | 達成状況 | |
| | ゼロカーボンや自然エネルギーへの理解が深まったと回答した人の割合 | | 70% | 94% | ○ 達成 | |
| | 学習会参加者数 | | 35人以上 | 22人 | ● 一部達成 | |
| | 認知度アップキャンペーンへの参加者数 | | 100人以上 | 282人 | ○ 未達成 | |
| 事業実績・成果 | ①再生可能エネルギー学習会 アンケート結果では、「非常に良かった」35%、「良かった」59%と、参加者の満足度が高かった。また、「小水力発電について知識がなく進め方が分からなかったが、学習会を通じて方向性が見えた」「当町でも取り組める具体的な事例を見ることができた」といった感想が寄せられ、「市町村職員等の再エネの知識を深める」という開催目的を達成することができたと言える。成果指標の「学習会参加者数」については、マイクロバスの定員(最大25名)に合わせて募集を行う必要が生じたため、目標値を下回ったが、定員に対しては100%の申込みがあった。(申込者25名、当日欠席者3名) | | | | | |
| | ②「2050ゼロカーボン」認知度アップキャンペーン キャンペーンの実施については、県公式Xで情報発信し、5,360件のアクセスがあった。また、信濃毎日新聞と長野市民新聞に大きく取り上げられたため、目標値を上回る参加者を得ることができた。参加者の内99%が「キャンペーンを通してゼロカーボンアクションなど新しい発見があった」と回答しており、「2050ゼロカーボン」に対する認知度を高めることができたと言える。 | | | | | |
| 今後の方向性 | 長野地域の住民の「2050ゼロカーボン」に対する認知度を更に高め、具体的な取組を促進するため、普及啓発事業の実施を継続する。 | | | | | |